

第21回 LC テクノプラザ プログラム

主催 (公社) 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
共催 (公社) 日本化学会、(公社) 日本薬学会
後援 一般社団法人 日本分析機器工業会
期日 2016年1月21日(木)・22日(金)
会場 横浜情報文化センター(7Fの情文ホール及び大会議室)

<http://www.idec.or.jp/shisetsu/s6-jouhou.php4?f=jouhou/1-gaiyou.htm>

[住所: 横浜市中区日本大通 11 番地、電話 045-664-3737、交通アクセス :
みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口より直結、JR 根岸線「関内駅」より徒歩 10 分]



登録費 一般 6,000 円、学生 3,000 円。当日受付にてお支払い下さい。

情報交換会 1月21日(木) 17時30分より開催します。参加費 4,000 円は当日お支払い下さい。

横浜探訪ツアー 1月22日(金) 17:35 セッション終了後、横浜情報文化会館から徒歩で横浜三塔、横浜港大棧橋、山下公園などを散策し、中華街に到着

後バイキングを楽しみます。参加費 2,000 円は受付時にお支払い下さい。

講演分類 ①集中テーマ：(A)前処理における諸問題、(B)分離における諸問題、(C)検出・データ解析における諸問題、(D)未解決の諸問題、教訓的失敗例、②一般テーマ、③LC テクノレビュー、④LC/MS 基礎技術講座、⑤体験講演、⑥特別講演

発表形式 ・口頭発表（液晶プロジェクター）
・ポスター発表（横 120 cm × 縦 175 cm）

口頭発表 質疑応答を含めて集中テーマ、一般テーマは各 20 分（希望によって 30 分まで延長可）、LC テクノレビュー、LC/MS 基礎技術講座、体験講演、特別講演は各 30 分。

ポスター発表 発表者は 1 日目の 11 時までに横 120 cm, 縦 175 cm のスペースにポスターを貼り終え, 2 日目の 15 時以降に撤去して下さい。1 日目の 15 時から、各自 120 秒以内で内容を紹介して下さい（パワーポイント使用可）。

座長へのお願い（交渉中の方を含む）

ご担当の講演の 15 分前までに、受付にお立寄り下さい。また、講演時間を厳守して進行戴きますようお願い致します。

LC テクノレビュー 新技術や製品紹介のための講演枠です（1 講演 30 分で 20,000 円）。①申込講演数、②講演題目・発表者名、③連絡先（電話も）を明記し、1 月 8 日（金）までに下記に電子メール等でお申し込み下さい。

機器・カタログ展示 横幅 180 cm、奥行き 60 cm、高さ 72 cm の台を使用します。1 小間につき、機器展示は 30,000 円、カタログ・書籍展示は 10,000 円。展示ご希望の方は、①希望する展示の種類、②申込小間数、③連絡先（電話・FAX 番号も）を明記し、1 月 8 日（金）までに電子メールでお申し込み下さい。なお、展示申込は先着順に受付け、満小間になり次第締切ります。

LC テクノレビュー・展示申込先 第 21 回 LC テクノプラザ実行委員会
[E-mail:nakamura@jsac.or.jp]

問い合わせ先

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号
（公社）日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会 第 21 回 LC テクノプラザ実行委員長 中村 洋 [E-mail : nakamura@jsac.or.jp]

1 日目 (1 月 21 日、9 : 50 - 19 : 30)

総合司会 : 加藤尚志 (産総研)

9 : 50 - 9 : 55 世話人開会挨拶 宮野 博 (味の素)

9 : 55 - 10 : 00 実行委員長挨拶 中村 洋 (東理大)

集中テーマ (B) 分離に関する諸問題

10 : 00 - 11 : 00 (座長 : 吉田達成)

BO1 超高温水イオン交換クロマトグラフィーによるイオン交換分離選択性の
対イオン依存性および分離カラム効率の温度依存性の解析
(埼玉大院理工) ○森永遼太、齋藤伸吾、渋川雅美

BO2 多段階 pH ピークフォーカシング向流クロマトグラフィーの開発とその
希土類元素分離への応用 (埼玉大院理工) ○倉原佑規、齋藤伸吾、渋川雅美

11 : 00 - 12 : 00 (座長 : 中込和哉)

BO3 耐アルカリ性シリカカラムの開発と使用における注意点
(クロマニックテクノロジーズ) ○塚本友康、長江徳和

BO4 HPLC 用単分散シリカの Van Deemter プロットを用いた性能評価
(クロマニックテクノロジーズ) ○長江徳和、塚本友康

13 : 00 - 14 : 30 (座長 : 長江徳和)

BO5 LC 分離を不要とさせる FT-ICR MS による超高分解能質量分析
(ブルカー・ダルトニクス) ○森下宜彦

BO6 糖タンパク質特性解析における分離の諸問題と対策
(日本ウォーターズ) ○津田葉子

BO7 システムの性能評価とトラブルシューティング
(日本ウォーターズ) ○佐々木俊哉

LC テクノレビュー

14:30-15:00 (座長: 常吉俊宏)

TO8 分解能を超越して~イオンモビリティ質量分析計の最前線

(日本ウォーターズ) ○寺崎真樹

ポスター紹介

15:00-16:00 (座長: 市川進矢、榎本幹司、加藤尚志、児玉竜二、小林宏資)

集中テーマ (A) 前処理における諸問題

AP9 TLC-MALDI による化成品測定についての検討

(ブルカー・ダルトニクス) ○工藤寿治、岩崎了教、葦澤 崇

AP10 UPLC-MS/MSでの動物用医薬品一斉分析のための迅速、簡単、効果的なシーフード抽出物のクリーンアップ

(日本ウォーターズ¹、Waters Corp.²)

○松本真理子¹、Micheal S. Young²、Kim Van Tran²

AP11 塩基性化合物の吸着を抑えた新規低吸着バイアルの性能評価

(島津製作所¹、島津ジーエルシー²、国立循環器病研究センター 薬剤部³)

○藤村大樹¹、中島みのり¹、佐藤友紀^{2,3}、栗原 健³、内田あずさ¹、
藤井岳直¹、中山大介¹、山口忠行¹

集中テーマ (B) 分離に関する諸問題

BP12 2D-LC を用いたタンパク質の糖鎖の分析

(アジレント・テクノロジー) ○熊谷浩樹、見勢牧男、内藤厚子

BP13 メーカー間の比較から見るコアシェルカラムの特性

(クロマニックテクノロジーズ) ○塚本友康、長江徳和

BP14 代謝物分析におけるカラム選択

(資生堂) ○荒井裕子、神田武利、植村真樹

BP15 LC/MS/MS を用いた様々な化合物に対するメタルフリーカラムの有効性評価 (第 2 報)

(化学物質評価研究機構) ○中野裕太、坂牧 寛、内田丈晴

BP16 18-クラウン-6 添加移動相を用いた光誘導体化 HPLC によるキヌレニンの蛍光定量

(帝京大薬) ○渥美元将、馬渡健一、安田 誠、福内友子、山岡法子、金子希代子、中込和哉

BP17 移動相の 3 要素をポンプ 1 台で自在に制御するシステムの開発

(病態解析研究所) ○大塚悠一、菱沼義寛、岡橋美貴子、星野忠夫

集中テーマ (C) 検出・データ解析の諸問題

CP18 LC/MS を利用した金抽出率に影響を与える還元性物質の同定

(住友金属鉱山) ○井上雅仁、児玉竜二

CP19 特異値解析による電子ノイズ除去法を利用した PDA 検出器の感度向上法

(エーザイ) ○柿田 穰

CP20 qNMR/LC 法によるハロ酢酸混合標準液への値付け方法の開発

(産総研¹、国立医薬品食品衛生研究所²) ○加藤尚志¹、山崎太一¹、西崎雄三²、杉本直樹²、井原俊英¹

CP21 高感度蛍光検出器を用いた生薬中のアフラトキシン分析

(島津製作所) ○野村文子、大垣内 誠、早川禎宏

CP22 Direct insertion probe-QTOF を用いる生薬成分分析

(ブルカー・ダルトニクス) ○細田晴夫

CP23 新開発 超臨界 CO₂ システムの基本性能と応用

(日本分光) ○岩谷敬仁、堀川愛晃、佐藤泰世

CP24 新しい電気化学検出器 ECD-3000RS の紹介と分析アプリケーション

(サーモフィッシャーサイエンティフィック) ○松沼孝行

一般テーマ (G)

- GP25 低密度 ODS 修飾モノリスシリカキャピラリーカラムを用いたペプチド分離における二次シリル化処理ならびに添加剤の分離効率への影響
(信和化工) ○小林宏資、石田麻友、和田啓男
- GP26 LC-MS による植物ホルモンの網羅的分析法の開発
(新潟大農) ○児島清秀、野村隼大、五十嵐央也
- GP27 コアシェルタイプのイオン交換樹脂の開発とそれを用いた UHPLC への応用 (第 19 報)
(女子栄養大) 根岸由紀子、○三友俊一、村上仁美
- GP28 荷電化粒子検出器を用いたアニオン・カチオンの同時分析
(サーモフィッシャーサイエンティフィック) ○金 達英
- GP29 構成アミノ酸分析を中心としたバイオ医薬品の品質評価
(東レリサーチセンター) ○阿内康平
- GP30 LC-MS/MS 法による医薬品製造工程由来不純物の分析
(東レリサーチセンター) ○大野美季、竹澤正明
- GP31 LC-MS/MS を用いたかび毒 23 種迅速一斉分析法の開発
(島津製作所¹、アサヒグループホールディングス²) ○松本恵子¹、
渡辺 淳¹、望月直樹²
- GP32 ヘモグロビンの分析用に開発した IBM88 カラムの検討
(病態解析研究所) ○菱沼義寛、岡橋美貴子、星野忠夫
- GP33 超高磁場 950MHz LC-NMR の活用
(味の素) 上林弥生、岩畑大悟、○山口秀幸、水越利巳、山田尚之
- GP34 食材中に含まれる新規「コク味」ペプチド γ -Glu-Val-Gly の LC-MS/MS による定量分析
(味の素) ○水越利巳、加藤由美子、山崎淳子、江藤 譲、宮野 博、

黒田素央、宮村直宏

GP35 排水処理における LC/MS/MS の活用

(栗田工業) ○榎本幹司

GP36 LC-ICP-MS による無機陽イオン分析

(フジクラ) ○市川進矢

GP37 逆相固定相への溶質の分配に関する考察

(クロマニックテクノロジーズ) ○長江徳和、塚本友康

ポスター発表コアタイム

16:00-17:20 (モジュレーター: 山本敏人)

情報交換会

17:30-19:30 (司会: 岡橋美貴子)

(1) 実行委員長挨拶

(2) 来賓挨拶

(3) 2014 年度ベストマガナイザー賞表彰

梅香明子氏 (オルガノ株式会社)

(4) 第 20 回 LC テクノプラザベストプレゼンテーション賞受賞者表彰

・ベストオーラルプレゼンテーション賞 小林宏資氏 (信和化工)

・ベストポスタープレゼンテーション賞 長江徳和氏 (クロマニックテクノロジーズ)

・ベストテーマ賞 A 部門 (前処理における諸問題) + C 部門 (検出・データ解析における諸問題) + D 部門 (未解決の諸問題、教育的失敗例)

竹澤正明氏 (東レリサーチセンター)

・ベストテーマ賞 B 部門 (分離における諸問題)

高橋 豊氏 (エムエス・ソリューションズ)

・ベストテーマ賞 G 部門 (一般テーマ) 大野美季氏 (東レリサーチセンター)

(5) ラッキーパーソン・プレゼント抽選会

2 日目 (1 月 22 日、10 : 00 - 17 : 35)

集中テーマ (D) 教育的失敗例、未解決の諸問題

10 : 00 - 11 : 00 (座長 : 三友俊一)

DO38 2DLC-HRMS(High Resolution Mass Spectrometer)と NMR データ
を統合した不純物解析

(ブルカー・ダルトニクス) ○吉田達成

DO39 リアルタイム PCR を用いたウナギ種迅速 DNA 鑑定法の開発

(静岡理工科大学¹、(株)東海分析化学研究所²) ○大場基成¹、和田 昂¹、
夏目訓良²、大場恵史²、常吉俊宏¹

集中テーマ (A) 前処理における諸問題

11 : 00 - 12 : 00 (座長 : 三上博久)

AO40 前処理法の違いによる納豆中ジピコリン酸の定量値比較

(帝京大薬) ○村田宗一、澤田 唯、馬渡健一、安田 誠、福内友子、
山岡法子、金子希代子、中込和哉

集中テーマ (C) 検出・データ解析の諸問題

CO41 ニコチン及びコチニンの光誘導体化 HPLC 蛍光検出法における内標準
物質の再検討

(帝京大薬) ○高橋秀明、太田達宏、安田 誠、福内友子、山岡法子、
馬渡健一、金子希代子、中込和哉

体験講演

13 : 00 - 13 : 30 (座長 : 佐々木俊哉)

EO42 私と HPLC ~ 共に歩んだ 40 年

(島津製作所) ○三上博久

特別講演

13:30-14:00 (座長: 洪川雅美)

HO43 味の素(株)の研究開発を牽引する分析化学

(味の素イノベーション研究所) ○宮野 博

一般テーマ (G)

14:00-15:30 (座長: 竹澤正明)

GO44 マイコトキシンの分析

(アサヒグループホールディングス) ○望月直樹

GO45 メタボロミクス手法による慢性腎不全のステージ予測-成功までのノ
ウハウ公開

(ブルカー・ダルトニクス¹、東工大院生命理工²、特定医療法人陽会田仲北野
田病院³) ○吉田達成¹、小林利寛²、河野雅弘²、松村有里子²、小澤俊彦²、
箭内博行²、岩澤篤郎²、蒲池利章²、藤澤達也³、藤原功一³、田仲紀陽³

GO46 LC-MS を用いた迅速かつ確実な糖鎖構造解析

(東レリサーチセンター) ○水野保子

LC/MS 基礎技術講座 1

15:30-16:00 (座長: 児島清秀)

LO47 LC/MS 分析の基礎

(エムエス・ソリューションズ) ○高橋 豊

LC/MS 基礎技術講座 2

16:00-16:30 (座長: 望月直樹)

LO48 LC/MS による食品分析の基礎

(日本冷凍食品検査協会) ○橘田 規

LC/MS 基礎技術講座 3

16:30-17:00 (座長: 熊谷浩樹)

LO49 LC/MS によるペプチド分析の基礎

(第一三共) ○合田竜弥

LC/MS 基礎技術講座 4

17:00-17:30 (座長: 内田丈晴)

LO50 LC/MS による医薬品分析の基礎

(東レリサーチセンター) ○竹澤正明

17:30-17:35 閉会挨拶 (中村 洋実行委員長)

横浜探訪オプションツアー

17:35- (ツアコン: 佐々木俊哉)

- ・参加希望者は氏名と所属を明記しメール (nakamura@jsac.or.jp) でお申し込みください。
- ・参加費 2,000 円は受付にお支払いください。
- ・横浜情報文化センターを出て横浜三塔、横浜港大栈橋、山下公園などを散策し中華街へ徒歩で移動
- ・レストラン (品珍閣 関帝廟通り店) に到着後、飲酒組 (別料金) とソフトドリンク組 (ソフトドリンクバーのサービス) に分かれて着席
- ・18:00 より食べ放題 (136 品+季節料理 4 品、時間無制限) をスタート